

厚木県央ロータリークラブ 第1045回例会

例会行事

地区補助金配分事業

「ラオス支援」最終報告

担当 奉仕プロジェクト委員会

農園協力技術指導  
I T及び技術協力  
協力

臼井欽一職業奉仕委員長  
能勢幹事

山口昌興、立脇孝二、北村正敏 各会員

## 例会行事の目的

- ・ クラブ初の地区補助金事業に取り組んだ結果を会員に報告。
- ・ COVID－19の災禍のなか、今年度マストの奉仕プロジェクトの結果を報告。
- ・ その様な状況でいかにして国際奉仕を伴う支援事業を進めて来たかを報告。
- ・ 支援前後の様子を通して、会員の皆さんに今回の支援の効果を報告。

令和3年4月16日

報告者 高畑年度 奉仕プロジェクト委員会  
委員長 松 本 豊

# 支援前の農場の様子

敷地はかなり広い（2反程度）のですが、すべて人力作業で農機具の機械化はまったくなされていないので、作物を耕作してある場所は農園の一部しか使い切れていません。そしてご覧の通り土壌が非常に悪く、また雨季や乾季のといった地域的な条件もあり、農作業はかなり過酷な状況でした。

この様に作物への散水もジョウロで人力による散水です。このジョウロは5L位は入りそうな大きなものです。持つだけでも大変そうです。



このコロナ禍ラオスに行けない我々は、  
この活動が可能な方法に苦慮した。

その時、昨年ラオスを訪問した時の通訳、ブイ君の存在  
を思い出した。彼は日本語も非常に堪能で、12月に現地  
に行かれた赤尾さんからお願いしてもらい、内容もす  
ぐ理解して非常に迅速によく動いてくれました。彼がい  
なかったらこの活動は断念せざるをえなかったでしょう！



全国誌に掲載された高畑会長の紙芝居も彼が通訳

昨年訪問した時に一緒に撮った写真





中国製の新品の耕運機



ホンダ製の中古耕運機



好評だったオマケの草刈り機

今回の補助金配分事業で支援した農業支援のための内容。

機械化のための支援

加圧ポンプ



散水のための支援

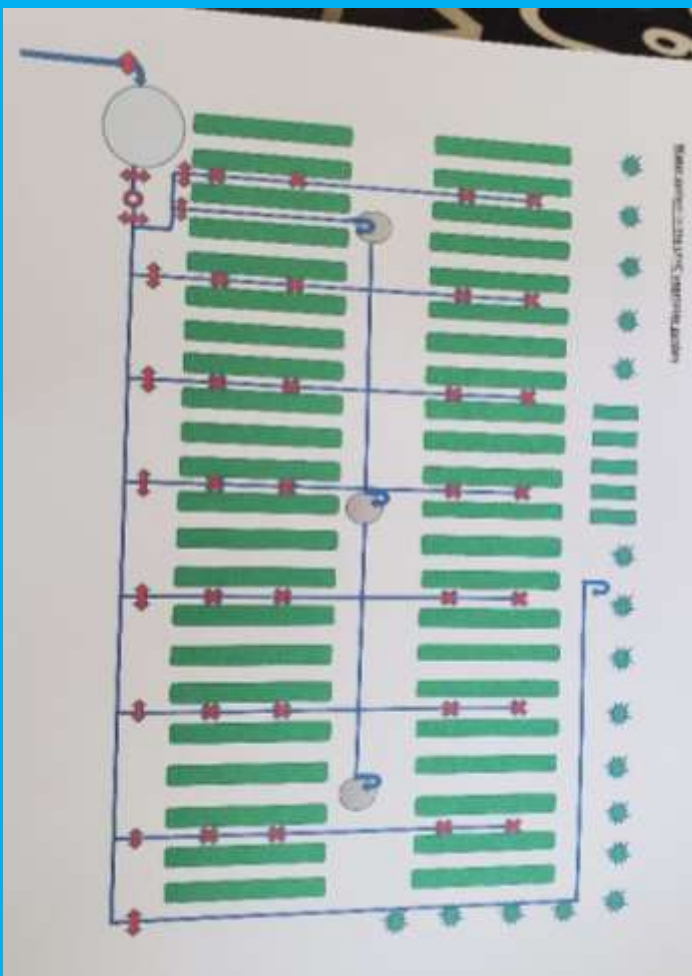


貯水タンクと施工中のスタッフ



完成した散水設備。この施工は全て病院のスタッフが自ら工事しました。

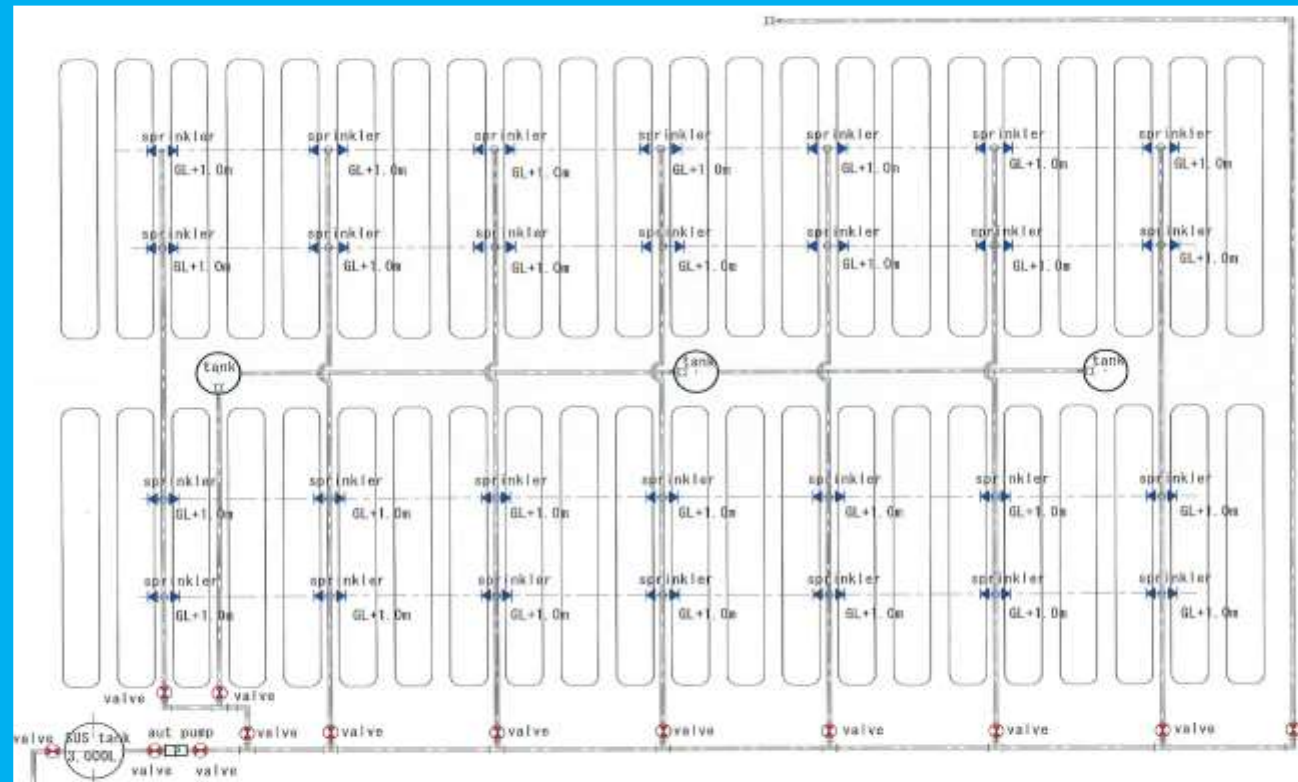
## 現地スタッフ作成の施工図



この右側の写真の加圧ポンプ用の電気工事も全て現地スタッフが工事したそうです。

## 農園散水システムの資料。

## クラブ作成の設計図



## 4月9日の現地とのリモート農業指導 についての事前ZOOM打合せの様子

今回現地で活躍してくれたブイ君も、ラオスからZOOMで参加してくれました。

令和3年3月30日、思えば去年ラオスへ行ったのは令和2年2月20日でした



今回の例会行事に備えて赤尾さんとは3回ZOOMで打合せを行いました。この補助金事業で合計10回位はZOOMで会議を開き、メールのやり取りは数え切れないほどいたしました。

|                 |           |           |  |  |  |  |  |  |  |
|-----------------|-----------|-----------|--|--|--|--|--|--|--|
| 高畑年度奉仕プロジェクト委員会 | 地区補助金配分事業 | 「ラオス農業支援」 |  |  |  |  |  |  |  |
|-----------------|-----------|-----------|--|--|--|--|--|--|--|

| 指 導 項 目                        | クラブからの指導内容                                                                                            | ラオフレンズ小児病院検討欄 |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 1、支援した耕運機の利用について               |                                                                                                       |               |
| ・耕運機でどのような作業ができるか。             | 土を掘り返したり反転させたりして耕すことができます。効果としては土が柔らかく作物の根が張りやすく作物の生育が良くなります。                                         |               |
| ・耕運機の使い方について。                  | 耕運機のハンドルをしっかりと保持しロータリーを回転させて耕しながら直進、突き当りで折り返す、を繰り返して畑を乗りつぶすように全体を耕します。                                |               |
| ・耕運機のメンテナンスについて。               | 定期的にオイル交換、作動部分の注油、駆動ベルトの点検、エアーフィルターの掃除、点検により劣化が確認されるものは交換してください。                                      |               |
| ・作業中の機械の危険性について。               | 近くに人がいないのを（特に進行方向）確認しながら作業してください。作業中、ロータリーに異物や繊維状の草などが絡みついて取り除くときには必ずエンジンを停止させてから取り除いてください            |               |
| 2、散水システムについて                   |                                                                                                       |               |
| ・設置完了時の写真を見たらうで配管状況について。       | ・縦配管が配管だけの自立なので、ぶつかると破損する心配があるので配管材の横に添え木を立て補強した方がよい。                                                 |               |
| ・加圧ポンプにつて。                     | ・露出状態なので、埃や雨水による電気系への影響が心配なので簡単なカバーを設けたら良いのではないかと。<br>またコンクリートの土間より少し高く設置した方が水が溜まったりした時安全だと思われる。      |               |
| ・メンテナンスについて。                   | ・井戸水を利用しているので異物が混入している事が考えられるので、フィルターを加圧ポンプの入り口の前に取付ければ除去しやすい。<br>ポンプにも付いている筈だが、高い物ではないので検討してみたらいかがか。 |               |
| 3、農園へのアドバイス                    |                                                                                                       |               |
| ・支援前は葉物がほとんどだったが適していると思われる作物は？ | 雑穀類 トウモロコシ、大豆、えんどう<br>根菜類 キャッサバ芋、サツマイモ、人参、ジャガイモ<br>果菜類 トマト、ナス、きゅうり、スイカ、かぼちゃ、唐辛子                       |               |
| ・肥料はどの様に使用したらよいか？              | 近くの養鶏場から鶏糞が入手できれば肥料として利用するのが良いと思います、完熟たい肥化していれば畑に散布して耕運、2週間程度開けてから作付けします。                             |               |
| ・耕運機利用前は作物の根や雑草がそのままだったが処理法は？  | 雑草や根の小さいものはそのまま数回耕せば土に混ざりますが、長いもの、根の大きいものはロータリーに絡みついて故障の原因になりますので取り除く必要があります。                         |               |
| ・栄養が多い作物はどのようなものがよいか。          | タンパク質が一番豊富なものは大豆などの豆類、<br>炭水化物が豊富な作物は、トウモロコシ、サツマイモ、キャッサバ芋、ジャガイモ                                       |               |

厚木県央ロータリークラブ農業従事会員の臼井  
職業奉仕委員長からの支援への指導項目の書面

前のスライドの書面をブイ君が翻訳してくれた  
ラオス語による支援指導の書面。私にはラオス  
の文字はさっぱり分かりません。

# 4月9日いよいよ現地とのオンラインでの 農業の指導委員会の開催日となりました。

当日の会場の様子。当然ソーシャルディスタンスを確保して、ホテル側も感染予防措置をしっかりといただきました。



正面のプロジェクターに現地農園からZOOMで参加のブイ君と病院スタッフそして赤尾さんがしっかり写っています。これで一安心。

進行は不肖、松本が務めました。



現地への農業指導中の臼井職業奉仕委員長



現地のスタッフからは、主に耕運機のメンテナンスや寿命について質問があり、こちらからは栽培する作物について栄養価の高い物を個別に作物を指導しました。

## 農業指導中の会場の様子

会場でZOOMの進行は補助金申請者の井直前会長、会場撮影やカメラのセッティングは能勢幹事が担当。現地とのやり取りは、共同ホストで赤尾さんに進行をお願いしました。

現地の病院スタッフへはブイ君が通訳



## 臼井農園で2月に我々が活動した動画をZOOMを用いて指導。



現地に送った耕運機はブイ君が手配してくれたですが、臼井会員が持っている耕運機とほとんど同じとの事でした。新川会員が初挑戦し問題なく運転できました。  
**この日は2月20日、何と去年ラオスへ行った日です。**

この画面で分かる通り、現地や赤尾さんもしっかり画面に写っています。臼井会員が使っているこの耕運機は15年以上使用しているとの事で、メンテナンスをしっかりとすれば長く役立ってくれるでしょう。



## リモート指導中のZOOM画面の写真

この写真は耕運機を現地で作動中のZOOM画面です。約5分ほど農地を耕してもらいました。7、8坪ほどの面積でしたが、なんと今迄はこの面積を耕すのに、2日かかっていたそうです。耕運機の威力に現地のスタッフはビックリ仰天したでしょう。



ルアンパバーンでは、実は耕運機は売っていないそうです。この日本製の中古耕運機はビエンチャンで、中国製の新品の耕運機はタイからブイ君が手配して購入してくれました。現地スタッフは耕運機の存在も知らなかった様で。最初は要らないと言われたのですが、物を調べたらしく、一転是非欲しいと言ってきました。

リモートで遥か彼方のラオスでのLIVE動画を送信してもらい、耕運機の作業を確認し臼井会員の指導により委員会の農業指導は大成功にて終了しました。

## ZOOMの動画のプロジェクタースクリーンの様子と耕運機の使い方を指導中の臼井会員。

ZOOMによる農業指導。この画面で、実際に耕運機を使っている場面で、拡大したのが左の写真です。



## こうしてラオスとのリモート農業 指導は成功裏に終了いたしました。

リモート委員会終了後の、バイ君と  
病院スタッフの現地での記念写真。

翌日、本日来場いただいている赤尾さんから、支援に  
対する丁重なメールが届きました。

奉仕プロジェクト委員会の皆様へ

先日はラオスとの中継による報告会を開催していただきましたこと、心より感謝いたします。大きな問題もなく、終了できましたことにホッとしております。  
現地スタッフも自分たちがしている農業活動をお見せする機会をいただけたことを喜んでおりました。院内の活動で注目されるのは医療であることが多くなりますが、こうした活動も病院へ来る患者さんたちを支える大きな力になっています。今回のご支援に改めてお礼申し上げます。

現地から『ありがとうございました』の写真が届きましたので添付いたします。

16日、12時に伺います。何か準備するものがございましたらお知らせくださいませ。  
よろしくお願いいたします。



# 活躍中の支援した機械

ビエンチャンで中古で購入したホンダの耕運機。まだ使い方がぎこちなさそうでしたが、臼井会員の指導により上達したと思います。それにしてもひどい土壌です。臼井会員によると耕運機で耕すと土壌も良くなるそうです。



草刈り機も大好評



タイから購入した新品の中国製耕運機。タイヤが付いているので、やはり使いやすそうに見えます。現地では機械は故障しても修理してとことん使うそうなので、長い間活躍してくれるとおもいます



## 放水中の散水システム

このシステムを日本で設置するとどの程度費用がかかるか、専門の松澤会員に聞いたところ、「電気設備まで入れると100万円位かかりそう。」との事。今回はスタッフが施工した為、タンクやポンプも含めて12万円で出来ました。



臼井会員に「日本の畑はなぜこんなシステムが必要ないのか？」と聞いたところ「日本は適度に雨が降るので土壌が常に水分を含んでいるから、散水の必要が無い。」との事でやはり熱い地域の農業は大変なのを実感しました。

## 補助金事業農業支援後の現在の農園



除草も手作業ではなく、草刈り機で効率も作業性も非常にUPし大好評との事。スタッフの笑顔が印象的です。



支援した耕運機を使用し機械化が進んだ現在の農園は、見違える様に近代的になったと感じます。青い配管が今回の支援事業の散水設備の配管です。



スタッフも耕運機の耕作や散水作業の重労働から解放されて、その時間を医療業務や、更に多くの農作業に充てる事が出来る様になったそうです。

## 地区補助金配分事業最終報告後記

このCOVID-19の災禍により、今年度は久保田ガバナーにとって、非常に残念な年度となってしまった事とその無念さは心中お察しするまでもありません。我がクラブの高畑会長も同様だと思います。しかし我がクラブは今回、初めての区補助金配分事業をしかも海外においてマストのプロジェクトとして決行する事と致しました。補助金申請者の井直前会長や奉仕プロジェクト委員会の委員の熱意により、事業としては大変有意義な成果を納める事が出来たのではないかと、奉仕プロジェクト委員長として自負しております。そして久保田ガバナーには申し訳ありませんが、この状況下で滅多に出来ない経験をさせていただきました。この経験を今後のクラブの発展と充実に活かしてまいる所存です。そして会長としてやはり残念な年度となってしまった高畑会長にとっても、会長年度のメモリアルとしてこの事業が実績として残せたと思っていただければ幸いです。会員の皆さんまだ地区財団に完了報告のタスクが残っております。あと少し頑張ります。また4月9日の現地動画を会員にご覧いただき共有する時間を持ちたいと思っております。

報告者 高畑年度 奉仕プロジェクト委員会  
委員長 松 本 豊